

ファッション
One Point
アドバイス

春の足元、注目は
メンズもレディースも
スリッポン!

待ちに待った春の到来。暖かい陽気に誘われて、外へ出掛ける機会が増えるこの頃、足元も人気のアイテムを購入したいところです。一昨年から続くスニーカーブームも相変わらず堅調ようですが、紳士靴売り場ではにわかにスリッポンが注目されています。

「スリッポン (slip-on)」は本来、「滑るように容易に脱ぎ着できる」(出典;新ファッションビジネス基礎用語辞典)という意味の修飾語。脱着のしやすさを重視して作られた靴のことを総称してスリッポンと呼び、一般的には紐なしの靴を指します。カジュアルなローファー、モカシンの他、フォーマルなオペラシューズなどもスリッポンの部類に入ります。最近では、踵部分の無いものをスリッポンと表記して売られているケースも多いようです。



レディース用は、サンダルを思わせる、踵部分を覆わないスリッポンが主流。色は春らしいパステルカラーで見た目に軽快な足元を演出してくれるものようです。春らしいスリッポンを、あなたも一足どうでしょうか?

絵画の中の洗濯風景

アルルの跳ね橋



ヴァンセント・ヴァン・ゴッホ作 (1888年) 部分

ゴッホは、オランダ生まれの画家で、水辺の風景にはきつと故郷への思いもあったことでしょう。

「アルルの跳ね橋」と題されたこの絵の跳ね橋のもとでは、数人の女性たちが洗濯をしている風景が描かれています。川の水もぬるみ始めた穏やかな初春でしょうか、遠景の木々には若葉が芽吹き始めているようです。

日本の昔話にも「川に洗濯に…」とあるようにきれいな川辺で洗濯することは日常のことでした。爽やかな昼の洗濯は、のどかで平和な人の暮らしを感じさせます。

アルルの地は、フランスの南部で地中海に面した歴史的な港のあるところでは。

この跳ね橋は、アルル郊外の運河にかかるラングロワ橋という橋ですが、今はコンクリートに造り替えられていて当時の面影はないということです。ただ、この絵によってあまりにも有名になったこの木造の跳ね橋は、別の場所に移設され、「ヴァン・ゴッホ橋」と名付けられています。コンクリートの護岸にかけられており、ゴッホが描いた当時の風景をしのぶことはできません。

くらし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 84



ファッション・ワンポイント:メンズもレディースもスリッポン
絵画の中の洗濯風景:「アルルの跳ね橋」ヴァン・ゴッホ
衣類のケア講座:花粉はウール製品に付きやすい
衣生活の知恵:ウールのセーターが温かい理由

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



衣類のケア講座

花粉はウール製品に付きやすい

今年は、昨年の猛暑の影響によって、九州で2倍程度、近畿地方ではなんと10倍以上のスギ花粉飛散の予測が環境省から発表されています。花粉症を発症する人口が増加する傾向にあり、今春の花粉被害は例年に無い大きなものとなりそうです。

環境省花粉症環境保健マニュアルには、繊維製品と花粉との関連性について述べられており、衣生活とクリーニングに関連する資料を引用して紹介しましょう。

花粉症の原因となっている代表的な植物はスギで、その森林面積は国土全体の12%を占めています。また、花粉症アレルギーはスギやヒノキばかりではなく、ハンノキ、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ等61種類もの植物の花粉によるものが報告されています。



スギ



<光学顕微鏡写真>

●花粉の付着しやすい繊維素材

環境省のマニュアルには、東邦大学の佐橋紀男教授の研究による繊維素材ごとの花粉の付着率を調査したものが 있습니다。これによると、綿を100とした時の比率では、絹150、化繊180といった数値に対して、ウール980とウールだけが突出した数値となっています。

素 材	付着花粉率
ウ ー ル	980
化 繊	180
絹	150
綿	100

素材による花粉付着率（東邦大学佐橋紀男教授調べ）

これは、ウール繊維がクリンプという捲縮（けんしゆく）構造になっていること、表面にスケールというウロコ状組織があって花粉が引っ掛かりやすいなどといったことが、その原因になっているものと考えられます。これとは逆に、絹やポリエステルなどのフィラメント繊維の場合、織物の表面が平滑になるため、花粉が引っ掛かりにくいということになります。

また、ウール製品の場合、その構造から花粉が落ちにくいので、外出のたびに花粉を蓄積していくことになり、シーズン中には大量の花粉を吸着させることになってしまいます。そして室内での着脱時に家庭内に花粉をまき散らすことになりかねません。

ウールスーツなどほぼ毎日着用する衣類については、従来のようなしまい洗いだけではなく、着用期間中に頻繁にドライクリーニングすることによって、相当量の花粉をウール製品から除去することができるといえるでしょう。



ウールのセーターが温かい理由

どんなに新素材が開発されても、ウールのセーターの優しい温かさがいいですね。数千年の昔から愛用されているウール。なぜ、他の素材に比較して温かいのでしょうか。

◎ウール繊維には縮れがある

ウール繊維にはクリンプといわれる細かな縮れがあります。この細かい縮れが絡み合っ空気層をつくっています。全体の容積の約60%は空気層であるといわれています。デッドエアといわれるウールに包まれた空気層は断熱性が高く、外気の温度を体に伝えにくくします。また、ウール繊維は合成繊維の5分の1、綿の2分の1程度しか熱を伝達しません。このことから、体温が奪われにくく温かいというわけです。

◎汚れると空気層がつぶれて寒くなる

汚れると、ウール繊維どうしが密着するようになり、空気層がつぶれてしまいます。このため、ふんわりとした状態に比べて、冷たく感じるようになるのです。ウール製品をふんわりとさせるためには、クリーニングがとても有効です。

